



# 佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート

2023  
1月号

## 新年あけましておめでとうございます

昨年は、大学院1年目ということもあり、現職教員（以下現職）は久しぶりの講義や課題に、ストレートマスター（以下ストマス）は学部時代に比べてより専門的になった講義内容や実習に戸惑うこともありましたが、先生方のご指導や他の院生からのアドバイスもあり、充実した日々を過ごすことができました。

現在、大学院2年生（以下M2）は、2月末に予定されている研究成果発表会に向けて報告書をまとめるなど、2年間の大学院生活の最終段階に入っています。大学院1年生（以下M1）は、3月初旬に予定されている中間発表会に向けて準備をしています。このように、大学院では、新年を迎えるとともに大切な時期を迎えました。

さて、皆様は、2023年をどのような気持ちで迎えたのでしょうか。M1の皆さんの抱負をいくつか紹介します。

**今年の抱負**

今年こそは山登りに挑戦します!!本を30冊は読みます! (ストマス)

新しいことに挑戦して、毎日楽しく生きる! (現職)

ホップ(新しい環境に慣れる)  
ステップ(楽しく自分のペースで仕事する)  
ジャンプ(研究をやり遂げる)  
ことを目標に! (現職)

歩くときどき走る!  
昨年から毎日歩くようにしています。今年は走れるようになりました。 (現職)

将来に向けて頑張る! (ストマス)

ウサギのようにピョンと飛躍できる年となるように、カメのように一歩また一歩と地道に進み続けます。 (現職)

早寝早起き!  
毎日健康! (ストマス)

### 後期授業紹介：子どもの心の理解のために

今年度の授業も終わりに近づいてきました。

今回は、M1の後期唯一の共通必修科目である「教育相談・学校カウンセリングの基礎と課題」の授業の様子について紹介します。これは、学校臨床心理学がご専門の下田先生と、特別支援教育がご専門の小松原先生の講義です。

これまで、応用行動分析の基礎を学び、不登校・いじめなどの諸課題への具体的対応や未然防止等について、演習、事例検討、グループワーク等で学んできました。子どもの心理支援には教員として全員が携わるようになるため、学校での具体的場面を想像しながら、子どもの心理社会的な視点から現職とストマスが意見を交流する貴重な場となっています。最近では、緊急支援として被災等での心理支援について学びました。災害や突然の事故への遭遇の際、子どもの気持ちの様々な表現を知り、行動の裏にある本心に寄り添う姿勢が重要であること等を学びました。行動と気持ちを分けて考えるカウンセリングマインドをもって子どもに関わることが必要であり、これまでの教員としての意識や振る舞いを振り返る機会ともなりました。

